

広島市植物公園

見どころ案内

クレマチス ウンナンエンシス

(キンポウゲ科)

中国原産で、真冬に咲く常緑クレマチスです。白いベル型の花です。

カランコエ

ユニフローラ

(ベンケイソウ科)

マダガスカル原産。ベル咲きの花がたくさん下がっています。他にも上向き咲きのお馴染みのカランコエや、八重咲きの新品種も色とりどりで咲き誇っています。

カリアンドラ ハエマ

トケファラ (マメ科)

球形に近い、丸い花が次々と咲いています。糸のように伸びているのは雄しべで、赤花と白花があります。

クリスマスローズ

(キンポウゲ科)

白、緑、紅などに色づいています。

植物日本画展

～2月26日(木)

四季折々の植物の姿を描いた日本画を展示しています。

[展示資料館1階展示室にて]

ウメ・冬至(とうじ)

(バラ科)

中国原産の早咲き品種。冬至のころから、白い一重の花を咲かせるためこの名がつけました。対面にあるのは、早咲き紅梅品種‘八重寒紅(やえかんこう)’です。

フクジュソウ

(キンポウゲ科)

天気の良い日には、池に面した斜面のいたるところで鮮やかな黄色の花をひらきます。

セツブンソウ

(キンポウゲ科)

小さな蕾が次々と頭をもたげてきました。天気がよく、花卉のような白いがくがしっかりと開いた時は、紫色の雄しべがととてもきれいに見られます。

ツバキ・万才楽

(ツバキ科)

ヒゴツバキ系の園芸品種が咲き始めました。他にも太平楽、都の春などを御覧いただけます。

シナマンサク

(マンサク科)

中国原産。ねじれたリボンのような黄色い花卉の花が満開です。赤色の花卉をもつマンサク‘ルビーグロー’なども咲いています。

ウメ・紅冬至(こうとうじ)

(バラ科)

少しずつ紅色や白色が目立ちはじめたウメ園。早咲きの紅冬至も五分咲きといったところです。

